

○水生生物モニタリング調査結果一覧 (いわき市沖M)

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-2	○	○	○	○	○	○

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R3.11.2	08:07	09:10	18.3	18.6	砂	5Y3/2	貝殻片	42.0	8.5
M-2 (下層)				08:32		17.7						

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R3.11.2	08:07	8.1	<0.5	1.7	8.1	4980	33.83	1.4	2	0.8	N.D. (0.0016)	0.0044	—
M-2 (下層)				08:32	8.1	<0.5	1.3	7.5	5160	34.04	1.1	2	0.8	N.D. (0.0014)	0.0030	0.00082

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-2	37.1996°	141.0853°	R3.11.2	09:10	7.7	330	23.3	1.9	1.6	2.744	1.0	0.4	2.0	88.0	4.5	4.1	0.15	4.8	1.3	31	N.D. (0.14)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-4	久之浜沿岸	—	—	R3.10.26	藻類・植物	褐藻	コシア	コシア	<i>Eisenia bicyclis</i>	アラメ	—	0.30	—	—	—	0.44	N.D. (0.24)	0.44	—
					軟体動物	腹足	古腹足	ミミガイ	<i>Haliotis sp.</i>	アワビ類	3	0.22	未成体/成体	—	軟体部	N.D.	N.D. (0.26)	N.D. (0.25)	—
					棘皮動物	ウニ	ホウニ	オホフウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ	6	0.68	成体	—	—	0.40	N.D. (0.22)	0.40	—
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ	24	0.11	未成魚	—	—	0.39	N.D. (0.35)	0.39	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をプラン等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。